

リセオのひかり



2020. 5月4日
リセオ日本コース 学校だより
NO. 2 文責 中山 俊美

メキシコの太陽が「外へ出ておいでよ」と誘っているかのような日々が続いておりますが、保護者の皆様も不自由な生活を強いられていることと存じます。オンライン学習は、始まっておよそ2週間が経ちましたが、保護者の皆様のご協力のもと順調に軌道に乗ることができました。子どもたちは学習もさることながら、パソコン越しに友達の顔を見ることができるのでとても楽しみのようです。ある保護者の方から、「子どもたちにとって、学校や学校の友達がとても大きな存在であることを再認識しました」と知らせていただきました。私たち教職員は、学校が再開できる日に向けて準備を進めますとともに、オンライン学習をより効果的により分かりやすく進めるよう努力してまいります。

既に5月になってしまいましたが、本来であれば年度当初に学校経営方針について直接保護者の皆様に説明する機会を設けておりましたが、今年度はHPに掲示してありますのでご覧になってください。その中にありますが、建学以来日本コース経営の理念は「グローバル人材」の育成です。「グローバル人材」とは国際社会の中で活躍できる人間であり、ダイバーシティ（多様性）の中で協働できる人間です。メキシコの地にあり、メキシココースと併存しているという利点を最大限に活かし、交流活動や現地理解教育を通して育成に努めてまいります。現在はコロナ禍の中で中断を余儀なくされておりますが、可能な範囲で、例えばオンラインを通してメキシココースとの交流なども考えております。

太陽の紫外線には殺菌作用があることは広く知られています。燦々と降り注ぐメキシコの太陽が、コロナウイルスを殺菌してくれないものかと考えながら、一日も早い学校再開を願っております。

1. ひまわり（特別支援）学級担任の水本先生を紹介します。

水本 恵美（みずもと えみ）先生

本年度、三重県よりシニア派遣となりました水本恵美です。不覚にも4月当初、体調を崩してしまい渡航が遅れてしまいましたこと、本当に申し訳ございませんでした。体調も回復し、27日に無事入国することができました。

私は、現職中ご縁があって「特別支援教育」に多く関わらせていただいております。「特別支援教育」は児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに添えていくものです。一人ひとりを大切にする教育実践を、他の先生方と協力して、取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

2. メキシココースとの交流 ～オンライン編～

メキシココースとの交流について、オンライン授業で使用している「Google Meet」を使用し、交流できるようなプログラムを現在検討中です。両小学部低学年から、オンライン授業のない自由になる時間帯に実施します。これは授業ではなく自由参加です。リセオに学ぶ子どもたちが、お互い同じ学校で学んでいることを知り、互いの存在を身近に感じて、コロナ禍が開けた後の交流活動につながるきっかけとなることを目的としています。詳細につきましては後日連絡いたしますが、多くの子どもたちの参加を期待しています。